

科目名	臨床医学総論Ⅰ②			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 後期
【授業の目的・ねらい】 現在の医療現場では多くの医療職が関わるのが特徴である。臨床工学技士はこの「チーム医療」を担う医療職の一員として、患者の情報を共有するための医学的知識が必須である。また検査や治療により深く携わり診療の補助を担うためには疾患に対する理解が必須となる。							
【実務者経験】 臨床工学技士として舞鶴共済病院や神戸大学医学部付属病院等で、慢性維持透析業務や人工心肺・急性期の血液浄化・救急医療等の業務に従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 主に内科系疾患の原因と病態変化、検査、治療などについての概要を解説する。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・内科系疾患の原因と病態について概要を説明することができる。 ・各種検査値、疾患と治療方針についての知識を見につける。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	白血球・出血性疾患についての知識を身につける						
17	免疫の概要とアレルギー疾患についての知識を身につける						
18	生体における免疫系と免疫不全についての知識を身につける						
19	皮膚科疾患の概要についての知識を身につける						
20	眼科疾患の概要と治療についての知識を身につける						
21	女性疾患についての知識を身につける						
22	耳鼻科についての知識を身につける						
23	中毒についての知識を身につける						
24	感染についての知識を身につける						
25	感染対策についての知識を身につける						
26	神経学についての知識を身につける①						
27	神経学についての知識を身につける②						
28	緩和ケアについての知識を身につける						
29	終末期医療、DNRについての知識を身につける						
30	授業全体のまとめと復習を行い、筆記試験の準備を整えることができる						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 臨床医学総論、篠原 一彦ほか、医歯薬出版株式会社 ・臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章ほか、金原出版株式会社							
【準備学習・時間外学習】 ・事前に教科書に目を通して講義に臨んでください ・病名、診断と治療を関連づけて覚える必要があります。十分な復習を行ってください。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを30点、中間テストを30点、定期試験を40点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							